

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
1	一般	3	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	社会福祉センターの管理運営に要する経費	高齢者支援課			①指定管理者制度(シルバー人材センター)による管理運営。 ②施設の老朽化、改修工事期間の管理運営。	22,088	20,090	6精査・検証	①管理運営状況の精査検証を行う必要があるため。 ②引き続き指定管理者制度を活用し管理運営を行う。	20,173
2	一般	3	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	社会福祉センター改修事業	高齢者支援課	○	○	①施設の長寿命化を図るため、大規模改修工事を実施する。 ②開館40年を経過し、外壁・電気・機械設備等が老朽化していた。	6,557	154,960	1終了	①平成26年度に改修工事を完了した。	0
3	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者在宅福祉に要する経費	高齢者支援課			①緊急通報システム・紙おむつ給付等を通して在宅高齢者や介護者の負担を軽減する。 ②制度利用条件の緩和や制度周知により、利用者増加を図る。	25,280	26,050	6精査・検証	①在宅福祉に関するニーズと展開する各サービスとを精査検証する必要があるため。 ②各サービスの利便性の向上と利用者の拡大を図る。	33,220
4	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者生きがい対策に要する経費	高齢者支援課			①敬老事業・老人クラブ等補助金、はり・きゅうマッサージ等費用助成を通して高齢者の生きがい・健康維持を図る。 ②ゲートボール場等高齢者向けスポーツ施設の維持管理。	18,438	21,661	7拡充	①老人憩の家等高齢者の集いの場・機会の拡充を図る必要があるため。 ②老人クラブ活動支援強化、加入者数の増加を図る。	23,905
5	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護事業者の助成に要する経費	高齢者支援課			①介護保険サービスの利用者負担額の減額を行なった社会福祉法人等に対し、減額対象費用の一部を助成金として交付する。 ②高齢化による要介護認定者・サービス受給者の増加に伴い、低所得者に対する利用料の減免も増加が予想される。	0	0	6精査・検証	①介護保険法、国の実施要綱等の改正により、事業の内容を見直していくこととなる。 ②制度に基づき、継続して実施する。	1
6	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者の施設措置に要する経費	高齢者支援課			①養護老人ホームへの入所措置費 ②高齢化に伴い対象者が増加傾向にある。	29,348	30,880	6精査・検証	①市の単独事業であり、絶えず検証する。 ②介護保険制度など補助事業の活用を絶えず検討する。	37,811
7	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	老人福祉施設の助成に要する経費	高齢者支援課			①特別養護老人ホーム等への整備資金補助を行う。 ②各法人の安定的な運営に必要不可欠な事業である。	8,547	8,397	6精査・検証	①法人の運営状況の把握、助成の精査・検証が必要である。 ②法人の安定的な運営を目指し、精査・検証しながら継続する。	8,286
8	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	四市複合事務組合負担金に要する経費	高齢者支援課			①三山園運営のための負担金を支出する。 ②安定した運営の四市複合事務組合負担金として補助している。	18,243	19,287	6精査・検証	①三山園の運営状況の把握、検証が必要である。 ②三山園の安定的、適正な運営を四市で行う。	19,982
9	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険特別会計繰出金	高齢者支援課			①介護保険法に基づく給付費等の市町村負担金、その他事務費相当分として介護保険特別会計に繰出金を支出する。 ②高齢化による要介護(支援)認定者の増加に伴い、介護給付費の増加が見込まれる。	811,256	862,781	6精査・検証	①介護保険法に基づく市町村負担金を含め、事業運営のための財源として継続していく。 ②介護保険事業の円滑な運営のため、継続して実施。	950,464
10	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	福祉有償運送の事務に要する経費	高齢者支援課			①福祉有償運送の安全・安定的運営を図る為運営協議会を開催する。 ②安全及び利用者の利便性を確保し、事業者・利用者の増加を図る。	41	34	6精査・検証	①事業の安全性、利用拡大のため精査検証が必要である。 ②運営協議会を開催、新規事業者の参入等を検討する。	96

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
11	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険運営推進事業に要する経費	高齢者支援課			①介護保険の円滑かつ公正な運営を図るため「介護保険運営及びサービス推進協議会」による事業運営に係る審議等を行う。 ②高齢者人口の増加に伴い介護認定者も増加傾向にあり、サービス内容等の見直しや充実強化について、議論を重ねる必要がある。	1,864	3,572	6精査・検証	①介護保険事業の円滑な運営を図るうえで必要な事業であり、介護保険法に基づき実施されている。 ②介護保険運営及びサービス推進協議会において、介護にかかわる広範囲な意見を、介護保険制度に反映させ制度の円滑な推進を図る。	136
12	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス利用者負担対策事業に要する経費	高齢者支援課			①障害ホームヘルプサービスの利用において定率負担額が0円となっている者が介護保険の適用を受けることとなった場合には、利用者負担を全額免除する。 ②対象者は限定されるが、高齢化に伴い増加が見込まれる。	0	0	6精査・検証	①低所得者対策として実施している事業であり、国の通知に基づき、事業を継続する。 ②引き続き低所得者の負担軽減を図り、適切な介護サービスを利用できるようにする。	2
13	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	シルバー人材センターに要する経費	高齢者支援課			①高齢者の就労対策の中核と位置づけるシルバー人材センターに補助金を交付する。 ②高齢者ニーズの変換等から会員数減少傾向が見られる。	18,301	17,867	6精査・検証	①運営状況(収支決算)・活動状況を把握し精査検証する必要がある。 ②事業(形態を含め)・職種の拡大等、会員拡大に向けての協議・検討を行う。	17,610
14	介護	1	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険事務に要する経費	高齢者支援課			①介護保険の事務処理全般にかかる事業経費。 ②介護保険システム関連経費が大部分を占めており、法改正等の都度改修費用がかかる。	34,444	49,503	6精査・検証	①介護保険に係る事務処理全般の管理を行っており、事務を適正に進めていく上で必要な事業である。 ②事務経費及びシステム関連経費の削減。	67,446
15	介護	1	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険料賦課徴収に要する経費	高齢者支援課			①介護保険電算システムにより介護保険料の賦課・徴収等の処理を行い、出力された帳票をもとに各種事務を行う。 ②高齢化による被保険者の増加に伴い、介護費用も増加している。安定的な財源確保のため、介護保険料も引き上げとなっているが、それによる収納率の低下や滞納保険料額の増加等の悪循環もみられる。	5,989	5,956	6精査・検証	①介護保険の安定的な財源確保のための事業であり、保険料の賦課徴収に関しては、介護保険法で定められている。 ②介護保険料収納率向上対策計画書に基づき、滞納者へ接触及び納付推奨を実施し、滞納保険料の解消に努めるとともに、納付書送付時に介護保険料リフレッツを同封し、保険料納付への理解を求める。	6,803
16	介護	1	3	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護認定審査会に要する経費	高齢者支援課			①介護認定審査会の開催経費。 ②高齢化に伴い審査会数が増加している。	17,306	15,824	6精査・検証	①公平で効率的な審査が出来るよう絶えず検証している。 ②効率的な審査を検討する。	18,731
17	介護	1	3	2	112いきいきとした高齢社会の形成	介護認定調査等に要する経費	高齢者支援課			①介護認定審査会に提出する書類(医師の意見書、調査資料)の作成費。 ②高齢化に伴い作成件数が増加している。	26,207	28,488	6精査・検証	①最小の経費で調査資料が作成できるよう絶えず検証している。 ②最小の経費で調査資料が作成できるよう検討する。	40,010
18	介護	2	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①要介護認定者が介護サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	4,538,227	4,659,043	6精査・検証	①介護サービスの提供により、要介護状態の維持、改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	5,385,159
19	介護	2	1	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な介護サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	40
20	介護	2	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①鎌ヶ谷市在住の要介護認定者が市が指定した事業所の介護サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	213,237	270,356	6精査・検証	①高齢者が要介護状態になっても住み慣れた自宅または施設で生活が継続できるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	294,041

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち 多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
21	介護	2	1	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日よりも前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な介護サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	10
22	介護	2	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①要支援認定者が介護予防サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	231,279	262,201	6精査・検証	①介護予防サービスの提供により、要支援状態の維持、改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	293,641
23	介護	2	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日よりも前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な予防サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	20
24	介護	2	2	3	112いきいきとした高齢社会の形成	地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①鎌ヶ谷市在住の要支援認定者が市が指定した事業所の予防サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	1,327	3,034	6精査・検証	①高齢者が要支援状態になっても住み慣れた自宅等で生活が継続できるよう支援している。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	5,560
25	介護	2	2	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日よりも前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②今まで実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①緊急時にも必要な予防サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	1
26	介護	2	3	1	112いきいきとした高齢社会の形成	審査支払手数料に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス等提供事業者からの給付費請求に係る審査支払事務を国民健康保険団体連合会に委託しているため、その手数料経費。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、審査支払手数料も増加するものと思われる。	5,422	5,197	6精査・検証	①国民健康保険団体連合会に審査支払業務を委託することにより、業務の正確性及び事務量の削減を図り、給付の適正化と介護保険財源の健全運営につながっている。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	5,767
27	介護	2	4	1	112いきいきとした高齢社会の形成	高額介護サービス費に要する経費	高齢者支援課			①被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用した月の利用者負担額が上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれる。	89,428	89,546	6精査・検証	①被保険者の負担軽減を図っている。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	100,656
28	介護	2	4	2	112いきいきとした高齢社会の形成	高額介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課			①被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用した月の利用者負担額が上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれる。	68	155	6精査・検証	①被保険者の負担軽減を図っている。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	233
29	介護	2	5	1	112いきいきとした高齢社会の形成	高額医療合算介護サービス費に要する経費	高齢者支援課			①医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた分を支給する。 ②高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	11,315	12,199	6精査・検証	①安心して介護や医療のサービスが利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	13,221

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
30	介護	2	5	2	112いきいきとした高齢社会の形成	高額医療合算介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課		①医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	0	0	6精査・検証	①安心して介護や医療のサービスが利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施	1
31	介護	2	6	1	112いきいきとした高齢社会の形成	市特別給付費に要する経費	高齢者支援課		①第1号被保険者の保険料を財源として要介護者や要支援者に対し、法律で定められている保険給付以外の鎌ヶ谷市独自の給付サービス。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、当事業の利用者も増えていくことが見込まれる。	1,004	1,343	6精査・検証	①適切な介護サービスを利用することで、要介護状態の悪化防止や地域での自立した生活を支援している。 ②要望が多かった保険給付外サービスとして引き続き事業を実施し、利用者の日常生活を支援していく。	1,561
32	介護	2	7	1	112いきいきとした高齢社会の形成	特定入所者介護サービス費に要する経費	高齢者支援課		①負担限度額認定を受けた要介護被保険者が介護保険施設へ入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、基準額と自己負担の限度額との差額を、国民健康保険団体連合会を通じて事業者を支払う。 ②高齢者の増加に伴い、要介護認定者、介護サービス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象者数も増加すると思われる。	197,542	204,212	6精査・検証	①低所得者対策として、要介護認定者が安心して施設サービス等を利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	224,478
33	介護	2	7	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例特定入所者介護サービス費に要する経費	高齢者支援課		①低所得の要介護被保険者が認定の効力の生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由により、介護保険施設への入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、償還払いで支給する。 ②今まで実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①必要な介護サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	20
34	介護	2	7	3	112いきいきとした高齢社会の形成	特定入所者介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課		①負担限度額認定を受けた要支援被保険者が短期入所サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、基準額と自己負担の限度額との差額を、国民健康保険団体連合会を通じて事業者を支払う。 ②高齢者の増加に伴い、要支援認定者、支援サービス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象者数も増加すると思われる。	214	137	6精査・検証	①低所得者対策として、要支援認定者が安心してサービス等を利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	233
35	介護	2	7	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例特定入所者介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課		①低所得の要支援被保険者が認定の効力の生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由により、介護保険施設への入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、償還払いで支給する。 ②過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①必要な予防サービスを安心して利用できる。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	1
36	介護	3	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	財政安定化基金拠出金に要する経費	高齢者支援課		①介護保険財政の安定化のため、千葉県に設けられた財政安定化基金に国、県、市が3分の1ずつ拠出する。 ②各保険者において適切に給付費等を見込むことにより、交付・貸付が減少しており平成21年度以降、拠出金は0円となっている。	0	0	6精査・検証	①介護保険財政の安定化 ②介護保険法に基づき適正に事務を進める。	1
37	介護	4	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	予防事業に要する経費	高齢者支援課		①談話室事業の負担金、保険料。 ②事業を担う推進委員が減少傾向にある。	800	899	6精査・検証	①参加者が安心して活動ができるよう検証している。 ②傷害保険の加入。	991

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
38	介護	5	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	二次予防事業対象者把握事業に要する経費	高齢者支援課			①基本チェックリストの配布、回収、判定の経費。 ②対象者把握までの効率が良くない。	3,562	6,637	6精査・検証	①対象者把握までの時間を短縮できるように検証している。 ②事業の実施が任意になったため、継続について検討する。	7,471
39	介護	5	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	通所介護予防に要する経費	高齢者支援課			①二次予防対象者への運動講座等の開催経費。 ②二次予防対象者と判定された方の中での参加者が少ない。	4,243	6,316	6精査・検証	①講座参加者が引き続き体力維持活動を続けるための方策を検証している。 ②講座終了時に自主運営の集まりを促す。	8,266
40	介護	5	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	包括的支援事業に要する経費	高齢者支援課			①地域包括支援センターの運営費。 ②高齢化に伴い相談件数等が増えている。	74,327	74,794	6精査・検証	①相談件数等が増加しているため絶えず検討している。 ②地域包括支援センター職員の増員、圏域について検討する。	90,385
41	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス適正化事業に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス従事者を対象とした研修費。 ②研修の実施回数が少ない。	70	75	6精査・検証	①研修結果について絶えず検証している。 ②研修受講生のニーズに合わせた研修を実施する。	75
42	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	家族等支援事業に要する経費	高齢者支援課			①徘徊高齢者位置情報サービス費など。 ②サービス利用者が少ない。	733	526	6精査・検証	①利用者の増減について絶えず検証している。 ②必要と思われる対象者に利用を呼び掛ける。	1,077
43	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	成年後見人制度利用支援事業に要する経費	高齢者支援課			①成年後見人市長申立てに係る経費など。 ②高齢化に伴い増加が見込まれる。	481	2,145	6精査・検証	①市長申立ての必要性を含めて絶えず検証している。 ②市民後見人養成講座を開催する。	4,774
44	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	福祉用具・住宅改修支援事業に要する経費	高齢者支援課			①介護保険の適用にならない住宅改修経費。 ②利用者が少ない。	63	11	6精査・検証	①事業の必要性を含めて検証している。 ②事業の必要性を検討する。	242
45	介護	5	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	地域自立生活支援事業に要する経費	高齢者支援課			①介護相談員報償、ひとり暮らしの高齢者への給食サービスを実施する。 ②相談業務の充実。	7,729	7,046	6精査・検証	①相談業務の充実、より多く利用者の増大を図るため精査・検討が必要である。 ②介護相談員現任研修会の実施、給食サービスの周知・利用者増大を図る。	8,850
46	介護	6	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険財政調整基金積立金に要する経費	高齢者支援課			①介護保険事業の財政運営を安定的に行えるよう基金を設置し、事業運営の中で生じる剰余金を当該基金に積み立てる。 ②介護保険財政が安定的に運営できるよう、剰余金については毎年度積立てを行っている。	180,921	94,924	6精査・検証	①介護保険財政の安定的な運営を図る。 ②計画値と実績値の検証を行い、剰余金の発生を最小限に留める必要があるが、剰余金が発生した場合は財政調整基金に積み立て、介護保険運営に役立てていく。	1
47	介護	7	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	第1号被保険者保険料還付金に要する経費	高齢者支援課			①過年度分の還付発生者に対し、保険料の還付を行う。 ②高齢化による被保険者の増加により、還付金発生数の増加も予想される。	704	630	6精査・検証	①適正な納付及び被保険者間の公平を図り、適正な介護保険料財源の運用を行う上で必要不可欠である。 ②介護保険法に基づき事業を継続する。	1,650
48	介護	7	1	2	112いきいきとした高齢社会の形成	国庫支出金等過年度分返還金に要する経費	高齢者支援課			①前年度の介護給付費に対し、交付を受けた負担金及び交付金に超過交付があった場合に返還する。 ②過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を行い交付申請をしたが、決算に伴い返還金が生じたため返還を行った。	10,531	58,773	6精査・検証	①適正な介護保険料財源の運用のため必要事業である。 ②介護保険費用等積算については、計画値と実績値の検証を行い返還金を最小限にしていく。	1
49	介護	7	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	第1号被保険者還付加算金に要する経費	高齢者支援課			①過誤納となった保険料に対し還付加算金を加えて還付する。 ②高齢化による被保険者の増加により、還付金発生数の増加も予想される。	0	0	6精査・検証	①適正な納付及び被保険者間の公平を図り、適正な介護保険料財源の運用を行う上で必要不可欠である。 ②介護保険法に基づき事業を継続する。	1

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	所管課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	25年度決算額 [千円]	26年度決算額 [千円]	総合評価	①評価の理由 ②平成27年度に取組む改革・改善内容	27年度予算額 [千円]
50	介護	7	1	4	112いきいきとした高 齢社会の形成	高額介護サービス費貸付金に要する経 費	高齢者支援課			①介護サービス費の支払いに困窮する者に対し、高額介護 サービス費の支給見込額の範囲内で無利子で貸付を行う。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サー ビス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検 証	①安心して介護サービスが利用出来る。 ②介護保険法に基づき、生活困窮者が安心して介護サービ スが利用できるよう、引き続き実施する。	10
51	介護	7	2	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	一般会計繰出金	高齢者支援課			①当該年度の介護給付費見込額等に基づき一般会計から 市の負担分を繰り入れ、翌年度において負担超過分の精算 を行う。 ②過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を 行い一般会計から市負担分の繰入を行ったが、決算に伴う 市負担額の確定により一般会計への繰出を行った。	24,583	48,400	6精査・検 証	①介護保険事業の健全運営のため必要事業である。 ②決算に伴う会計処理であるため、引き続き実施していく。	1